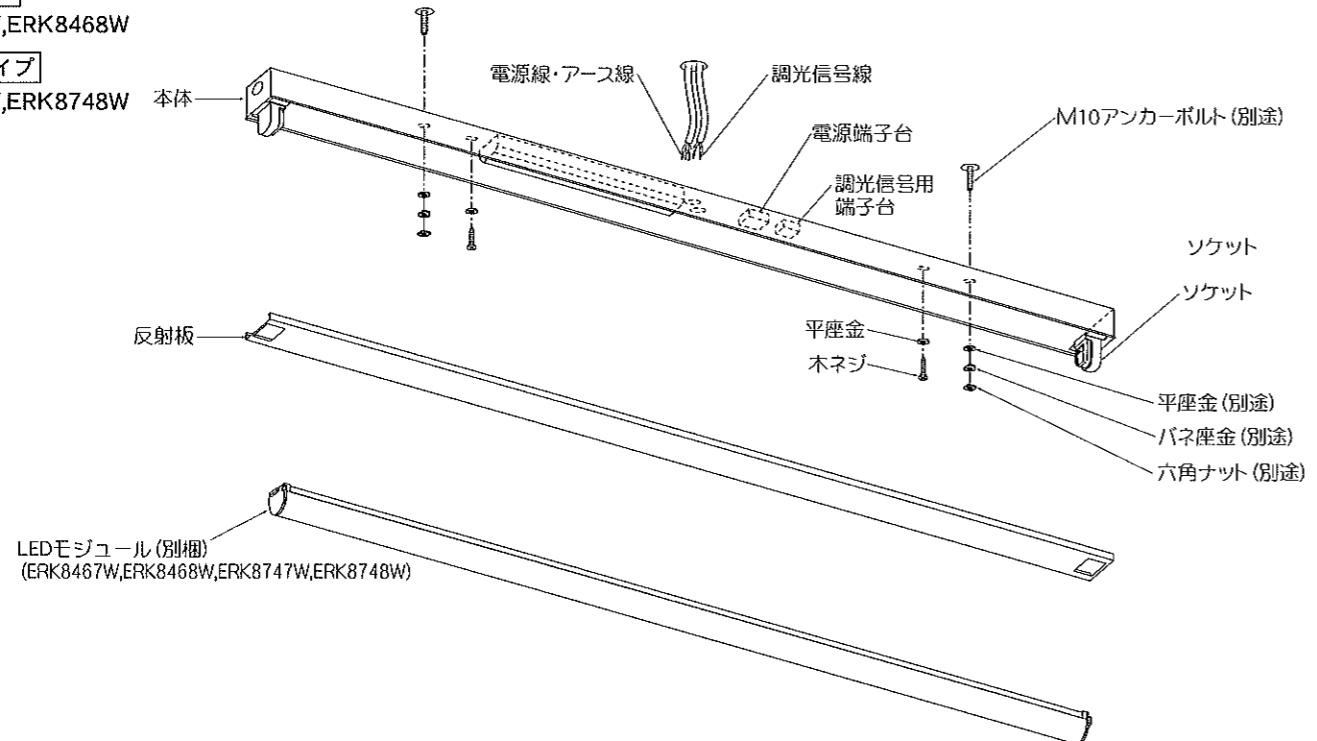
【型番】ERK8467W,ERK8468W,ERK8747W,ERK8748W

◆各部の名称

この図は一部省略抽象した共通部品図です

非調光タイプ
ERK8467W,ERK8468W
調光兼用タイプ
ERK8747W,ERK8748W

◆仕様

型番	ランプ色	配光	定格電圧	周波数	入力電圧	入力電流	消費電力
ERK8467W	ナチュラルホワイトタイプ(スリムチューブモジュール)	拡散	AC100V-242V	50Hz/60Hz	100V	289mA	28W
ERK8468W	昼白色タイプ(スリムチューブモジュール)	拡散					
ERK8747W	ナチュラルホワイトタイプ(スリムチューブモジュール)	拡散			200V	150mA	27W
ERK8748W	昼白色タイプ(スリムチューブモジュール)	拡散			242V	133mA	27W

⚠ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

◆適合LEDモジュール

型番	ランプ型番	灯数	配光	ランプ色温度	寸法
ERK8467W	THF72L-N840F	1	拡散	4000K	1170mmタイプ
ERK8468W	THF72L-N750F	1	拡散	5000K	1170mmタイプ
ERK8747W	THF72L-N840F	1	拡散	4000K	1170mmタイプ
ERK8748W	THF72L-N750F	1	拡散	5000K	1170mmタイプ

⚠ LEDモジュール交換の時は、必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

◆LED光源について

・LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバラツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。

■清掃方法について

⚠注意　必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

●中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
●シンナーやベンジンなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

●電源工事が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

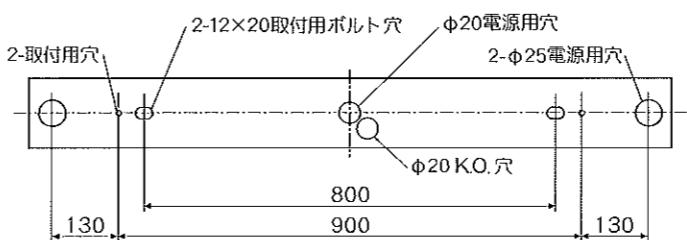
アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店か、最寄営業所へお問い合わせください。

◆適合信号制御器(別売)の接続台数

型番	適合信号制御器	定格電圧	接続台数(※)	調光範囲
ERK8747W	X-239W	AC100V	37台(50台)	15～100%連続調光
ERK8748W	X-240W	AC200V	50台(50台)	

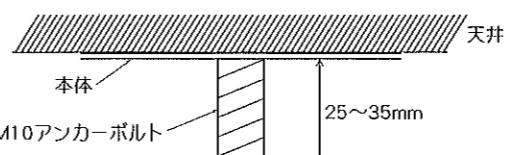
※(　)内は信号供給のみの接続台数です。

・自動調光制御システム(レッズ・セーバー)をご使用の場合は、RX-121WまたはRX-122Wの取扱説明書を参照ください。

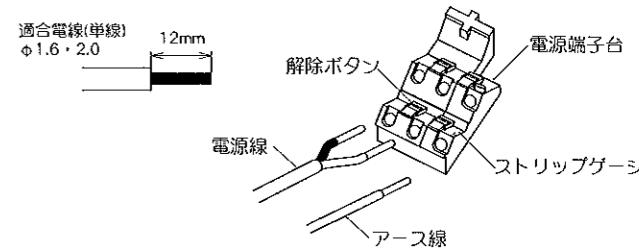
◆取付寸法

◆取付方法

1．安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

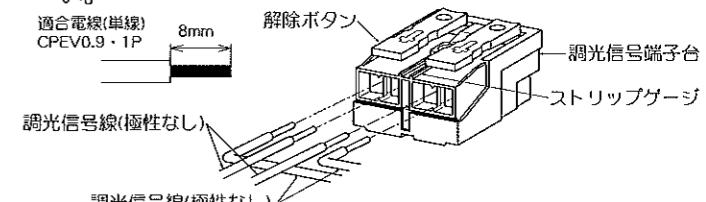
⚠ 感電の原因となります。

2．器具重量に耐える様、天井の取付面の強度を確保してください。
●本体はアンカーボルトまたは付属の木ネジで取付けることができます。
●指定の位置にアンカーボルトを施工してください。
●取付用M10アンカーボルトは別途ご用意ください。
●六角ナット、バネ座金、平座金は別途ご用意ください。
●本体の取付穴にアンカーボルトを通し、平座金、バネ座金、六角ナットで天井面に確実に取付けてください。
※本体を取付ける時、六角ナットを締めすぎますと本体が変形する場合がありますので、本体が天井面になじんだところで締付けをおやめください。

⚠ 取付部の強度が不十分な場合、器具落下の原因となります。

木ネジ取付の場合
●付属のワッシャを木ネジに入れて取付けてください。

3．電源線を電源端子台に接続してください。
●電源はストリップゲージ長12mmにむいてください。
●電線を奥までまっすぐ確実に差し込んでください。
●送り容量15A以下。
●D種(第3種)接地工事を行ってください。必ず端子台のアースを使用してください。

⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

⚠ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

4．※ERK8747W、ERK8748Wのみ
信号制御器(別売)で調光する場合は、調光信号線(推奨信号線 CPEV0.9・1P)を調光信号用端子台に接続してください。
●調光信号線はストリップゲージ長8mmにむいてください。
●調光信号線を奥までまっすぐ確実に差し込んでください。
●使用する信号制御器の最大接続台数以下で接続してください。

●信号制御器は当社指定の商品をご使用ください。
●信号制御器に付属の取扱説明書をご参照ください。

⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

5．開封時、ソケットは両側とも本体には固定されていません。確実に取付けてください。

⚠ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。